

社会保障審議会 介護保険部会（第111回）	資料 2
令和6年1月17日	

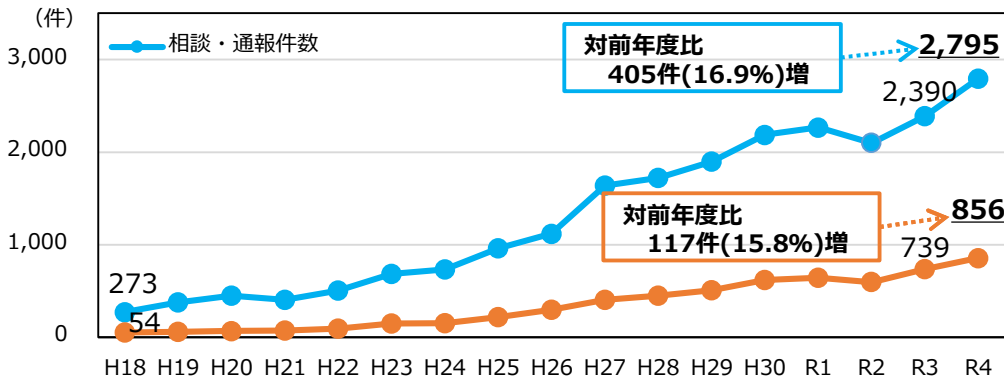
令和4年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」 に基づく対応状況等に関する調査結果（報告）

厚生労働省老健局

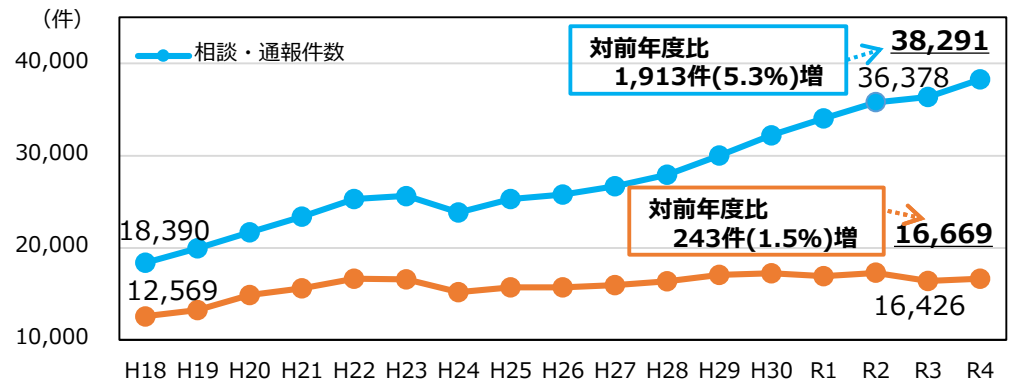
高齢者虐待防止法に基づく対応状況等に関する調査結果の概要（令和4年度）

- 国においては、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、全国の市町村・都道府県で発生した高齢者に対する虐待への対応状況に関する調査を、平成19年度より毎年度実施している。
- 直近の令和4年度調査結果によると、
 - ・「養介護施設従事者等（※1）による虐待」は、相談・通報件数が2,795件（対前年度比405件増）、虐待判断件数が856件（同比117件増）であり、いずれも過去最多で2年連続増加、
 - ・「養護者（※2）による虐待」は、相談・通報件数が38,291件（同比1,913件増）、虐待判断件数が16,669件（同比243件増）であり、相談・通報件数は過去最多で10年連続増加、虐待判断件数は横ばい傾向となっている。
- 相談・通報及び施設等の虐待判断件数の増加要因については、令和3年度の運営基準改正において委員会の設置、指針の整備、研修の定期的な開催等を義務付けたこと等による取組の進展や、自治体による相談・通報窓口の周知等により、通報の必要性が定着してきていることなどが考えられる。

養介護施設従事者等による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移



養護者による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移



	養介護施設従事者等による虐待	養護者による虐待
相談・通報者	当該施設職員（27.6%）、当該施設管理者等（15.9%）、 家族・親族（15.5%）	警察（34.0%）、介護支援専門相談員（25.0%）、 家族・親族（7.5%）
虐待の種別	身体的虐待（57.6%）、心理的虐待（33.0%）、 介護等放棄（23.2%）、経済的虐待（3.9%）、性的虐待（3.5%）	身体的虐待（65.3%）、心理的虐待（39.0%）、介護等放棄（19.7%）、 経済的虐待（14.9%）、性的虐待（0.4%）
虐待の発生要因	教育・知識・介護技術等に関する問題（56.1%） 職員のスプレッスや感情コントロールの問題（23.0%） 虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等 （22.5%）	被虐待者の認知症の症状（56.6%）、 虐待者側の介護疲れ・介護スプレッス（54.2%）、 虐待者側の理解力の不足や低下（47.9%）
虐待等による死亡事例	8件（8人）	32件（32人）
その他	（主な施設・事業所種別） 特別養護老人ホーム（32.0%）、有料老人ホーム（25.8%） 認知症対応型共同生活介護（11.9%）	（主な虐待者の続柄） 息子（39.0%）、夫（22.7%）、娘（19.3%）